

過去問 教育原理

2月18日

問1

次の文は、「教育基本法」第10条の一部である。（ A ） ・ （ B ） にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な（ A ）を身に付けさせるとともに、（ B ）を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

1	A:態度	B:自立心
2	A:技能	B:自立心
3	A:技能	B:社会性
4	A:習慣	B:社会性
5	A:習慣	B:自立心

父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な（ **A. 習慣** ）を身に付けさせるとともに、（ **B. 自立心** ）を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

教育基本法

第二章 教育の実施に関する基本

（家庭教育）

第十条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な**習慣**を身に付けさせるとともに、**自立心**を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

問2 次の文は、「学校教育法」第31条の一部である。（ A ） ・ （ B ） にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

小学校においては、（中略）教育指導を行うに当たり、児童の（ A ） な学習活動、特にボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の充実に努めるものとする。この場合において、（ B ） 関係団体その他の関係団体及び関係機関との連携に十分配慮しなければならない。

1	A:体験的	B:社会教育
2	A:体験的	B:民間教育
3	A:実践的	B:社会教育
4	A:実践的	B:民間教育
5	A:抽象的	B:社会教育

回答 1

小学校においては、（中略）教育指導を行うに当たり、児童の（ A 体験 ）な学習活動、特にボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の充実に努めるものとする。この場合において、（B 社会教育）関係団体その他の関係団体及び関係機関との連携に十分配慮しなければならない。

学校教育法 第31条第1項

重要法令

小学校においては、前条第一項の規定による目標の達成に資するよう、教育指導を行うに当たり、児童の**体験的**な学習活動、特にボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の充実に努めるものとする。この場合において、**社会教育**関係団体その他の関係団体及び関係機関との連携に十分配慮しなければならない。

問3

次の文は、「幼稚園教育要領」第1章「総則」第1「幼稚園教育の基本」の一部である。
(A) ～ (C) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

教師は、幼児との (A) を十分に築き、幼児が身近な環境に (B) に関わり、環境との関わり方や意味に気付き、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりするようになる幼児期の教育における見方・考え方を生かし、 (C) よりよい教育環境を創造するように努めるものとする。

1	A:人間関係 B:主体的 C:家庭や地域と共に
2	A:人間関係 B:積極的 C:幼児と共に
3	A:信頼関係 B:積極的 C:家庭や地域と共に
4	A:信頼関係 B:主体的 C:幼児と共に
5	A:愛着関係 B:主体的 C:幼児と共に

第1 幼稚園教育の基本

幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園教育は、学校教育法第22条に規定する目的を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。このため、教師は幼児との信頼関係を十分に築き、幼児と共によりよい教育環境を創造するように努めるものとする。これらを踏まえ、次に示す事項を重視して教育を行わなければならない。

1. 幼児は安定した情緒の下で自己を十分に発揮することにより発達に必要な体験を得ていくものであることを考慮して、幼児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること。
2. 幼児の自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを考慮して、遊びを通しての指導を中心として第2章に示すねらいが総合的に達成されるようにすること。
3. 幼児の発達は、心身の諸側面が相互に関連し合い、多様な経過をたどって成し遂げられていくものであること、また、幼児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにすること。

その際、教師は、幼児の主体的な活動が確保されるよう幼児一人一人の行動の理解と予想に基づき、計画的に環境を構成しなければならない。この場合において、教師は、幼児と人やものとのかかわりが重要であることを踏まえ、物的・空間的環境を構成しなければならない。また、教師は、幼児一人一人の活動の場面に応じて、様々な役割を果たし、その活動を豊かにしなければならない。

問4

次の【Ⅰ群】の人物と、【Ⅱ群】の記述を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A ロック (Locke, J.)
- B コメニウス (Comenius, J.A.)
- C フレーベル (Fröbel, F.W.)

【Ⅱ群】

- ア 「汎知 (pansophia)」を確立し、単線型の統一学校の構想を示した。
- イ 人間の精神は本来白紙 (tabula rasa) のようなものであるとした。
- ウ 遊びの重要性を説き、子どもが使って遊ぶための恩物 (Gabe) を考案した。

	A	B	C
1	ア	イ	ウ
2	イ	ア	ウ
3	イ	ウ	ア
4	ウ	ア	イ
5	ウ	イ	ア

【ジョン・ロック】とは、17世紀後半に活躍したイギリスの哲学者です。ロックは、近代哲学の認識論における「経験論」を確立しイギリス経験論の父と呼ばれます。ロックの経験論とは、人間にはあらかじめ理性が備わっているとする合理論に対して、一切の認識は知覚経験に基づいて形成されると考える理論です。生まれたときの心は最初は白紙であり、生まれつきの原理ではなく、観念は経験から備えられるものだと説きました。人間の心は生まれたときは白紙であるということを「タブラ・ラサ（ぬぐわれた書板）」という用語で表現しました。

【フレーベル】

ドイツの教育学者フリードリヒ・フレーベルというと、幼稚園の創設者として有名です。そして、フレーベル幼稚園で使う教材に「恩物」というおもちゃがあります。これは、フレーベルが考案した子どものおもちゃであり、Spiel Gabe「神様の贈り物」を意味し、日本では「恩物」（おんぶ）と訳されています。

【ヨハネス・アモス・コメニウス】

あらゆる事柄を独自の世界観で再構成した知の体系を構想し、それを「汎知学（パンソフィア）」と呼んだ。コメニウスは、教育が万人に必要であると考え「あらゆる人に、あらゆることを」学ばせる汎知主義を唱えた。

『大教授学』では貴賤貧富の別なく進学できる1歳から24歳までの単線型の学校体系を提唱し、乳幼児期の教育こそ大切であるとして、1歳から6歳までの乳幼児に「母親学校」を構想した。「母親学校」は「学校」と称しているが、母の膝の上で母親を教師として行われる教育を意味する。『汎知学』では生涯教育論を展開し0歳から6歳の乳幼児に「幼児期の学校」を構想した。ここでは6歳までの幼児を6つの発達段階に区分しており「発達段階への自覚の萌芽」をみることができる。コメニウスは幼児同士の交流を評価する一方、教師の力量不足から集団保育には否定的だったが「幼児期の学校」では集団保育を容認している。幼児の指導では遊びを重視し、直観教授法を主張し『世界図絵』で具現化した。コメニウスの思想はその後の保育思想に大きく影響を与えている。

問5

次の【Ⅰ群】の記述と、【Ⅱ群】の人物を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 愛知県出身。欧州を数年旅した後、**1875**（明治8）年に東京女子師範学校の創設とともに英語教師として招かれる。翌年、東京女子師範学校附属幼稚園の開設に伴い初代監事に任じられた。
- B 愛媛県出身の心理学者・教育学者。**1936**（昭和11）年に保育問題研究会を結成し、その会長に就任。研究者と保育者の共同による幼児保育の実証的研究を推進した。
- C 兵庫県出身。東京女子師範学校卒業後、同校附属幼稚園の保母となる。その後、華族女学校附属幼稚園で保母をしながら、**1900**（明治33）年に二葉幼稚園を設立した。

【Ⅱ群】

ア 松野クララ
イ 野口幽香
ウ 倉橋惣三
エ 関信三
オ 城戸幡太郎

	A	B	C
1	ア	ウ	イ
2	ウ	エ	ア
3	ウ	エ	イ
4	エ	オ	ア
5	エ	オ	イ

A・・・エ

東京女子師範学校附属幼稚園(現・お茶の水女子大学)は1876(明治9)年、日本で最初の官立幼稚園として開設された。初代監事(園長)には関 信三。 主任保母 松野クララ。保母として豊田英雄、近藤浜が参加した。

B・・・オ

城戸幡太郎は保育問題研究会の会長。 「子どもを大人が導く必要性」を主張して「社会的訓練」を保育の目的とした「社会協力の訓練」を説きました。

C・・・イ

野口幽香と森島峰は託児・保育事業の先駆けである「二葉幼稚園」を創設し、フレーベル教育を実施しました。

ウ・・・倉橋惣三

東京女子高等師範学校の主事になり、恩物中心の形式主義的保育を批判し幼児の自発生活を尊重し子どもの自由な遊びを生かした誘導保育を提唱した。
幼児教育の父、日本のフレーベルと呼ばれている。

保育問題研究会は子どもを社会の矛盾を抱え込んだ存在としてとらえつつ、それらを解決する「新しい保育の体系」の実現を目指しました。そのために保育実践を重視し、保育者自身を研究の担い手とし、実践者と専門研究者が共同するという全く新しい研究団体として誕生したのです。「保育を科学に」しようとする最初の取り組みでした

問6

次の文は、ある国の就学前教育についての記述である。どこの国のものか、正しいものを一つ選びなさい。

就学前教育は、3～4歳児を中心に幼稚園やプレイセンター、また、0～4歳児を対象とする多様な就学前教育機関において提供されている。また、マオリの言語・文化を教える機関「コハンガ・レオ」も設置されている。子どもの「今、ここにある生活」を重視し、実践者、研究者、マオリの人々の意見を集めて作られたカリキュラム「テ・ファリキ」により幼児教育が展開されている。

1	イタリア
2	アルゼンチン
3	フィンランド
4	ニュージーランド
5	シンガポール

ニュージーランドのナショナルカリキュラム(保育所保育指針や幼児教育要領にあたるもの)である。
「**テ・ファリキ**」についての記述です。ブロンフェンブレナーが提唱した生態学的(エコロジカル)システム理論をベースにしています。4原則を5つの要素を絡み合わせ、子どもを主体的に育てていこうという考え方です。

問 7

次の文は、「学校における「いじめ防止」「早期発見」「いじめに対する措置」のポイント」（平成25年10月文部科学省）の一部である。（ A ）・（ B ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

早期発見の観点から、学校の設置者等と連携し、（ A ）を実施することにより、ネット上のトラブルの早期発見に努める。また、児童生徒が悩みを抱え込まないように、法務局・地方法務局におけるネット上の人権侵害情報に関する相談の受付など、関係機関の取組についても周知する。パスワード付きサイトや SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、携帯電話のメールを利用したいじめなどについては、より大人の目に触れにくく、発見しにくいため、学校における（ B ）を進めるとともに、保護者においてもこれらについての理解を求めていくことが必要である。

1	A: SNS等の検閲	B: 道徳教育
2	A: SNS等の検閲	B: IT活用教育
3	A: SNS等の検閲	B: 情報モラル教育
4	A: 学校ネットパトロール	B: 道徳教育
5	A: 学校ネットパトロール	B: 情報モラル教育

⑥ ネット上のいじめへの対応 ネット上の不適切な書き込み等については、被害の拡大を避けるため、直ちに削除する措置をとる。名誉毀損やプライバシー侵害等があった場合、プロバイダは違法な情報発信停止を求めたり、情報を削除したりできるようになっている6ので、プロバイダに対して速やかに削除を求めるなど必要な措置を講じる。

こうした措置をとるに当たり、必要に応じて法務局又は地方法務局の協力を求める。なお、児童生徒の生命・身体又は財産に重大な被害が生じるおそれがあるときは、直ちに所轄警察署に通報し、適切に援助を求める。早期発見の観点から、学校の設置者等と連携し、学校ネットパトロールを実施することにより、ネット上のトラブルの早期発見に努める。また、児童生徒が悩みを抱え込まないよう、法務局・地方法務局におけるネット上の人権侵害情報に関する相談の受付など、関係機関の取組についても周知する。

パスワード付きサイトやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、携帯電話のメールを利用したいじめなどについては、より大人の目に触れにくく、発見しにくいいため、学校における情報モラル教育を進めるとともに、保護者においてもこれらについての理解を求めていくことが必要である。

問 8 次の文は、「教育振興基本計画」（平成30年 閣議決定）で示された教育政策の目標を実現するために必要となる施策に関する記述である。（ A ）～（ C ）にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- 地域の多様な関係者（学校、教育委員会、大学、企業、NPO、社会教育施設など）の協働による（ A ）の実践を促進するとともに、学際的な取組などを通じてSDGs（持続可能な開発目標）の達成に資するような（ A ）の深化を図る。
- 幼児期の教育から高等教育まで各学校段階を通じた体系的・系統的な（ B ）を推進する。
初等中等教育段階においては、地域を担う人材育成に資するためにも、地元企業等と連携した起業体験、職場体験、インターンシップの普及促進を図るとともに、特色ある教育内容を展開する専門高校への支援と成果の普及に取り組む。
- 女性が、結婚や出産等の様々な人生の節目も踏まえつつ、個性と能力を十分に発揮できるよう、大学等における（ C ）や各種の認定教育プログラム等を活用した能力開発など、学びを通じた主体的なキャリア形成を推進し、復職や再就職、起業等を円滑に成し遂げられる社会を実現する。

【語群】

ア	キャリア教育	イ	リカレント教育	ウ	ICT 教育
エ	ESD	オ	アクティブ・ラーニング		

	A	B	C
1	ア	ウ	イ
2	イ	ア	オ
3	イ	オ	ア
4	エ	ア	イ
5	エ	イ	ウ

○ 持続可能な開発のための教育(ESD)の推進

地域の多様な関係者（学校，教育委員会，大学，企業，NPO，社会教育 施設など）の協働による ESD の実践を促進するとともに，学際的な取組 などを通じて SDGs（持続可能な開発目標）の達成に資するような ESD の 深化を図る。これらの取組を通して，地球規模課題を自らの問題として捉 え，身近なところから取り組む態度を身に付けた持続可能な社会づくりの 担い手を育む。

○ 各学校段階における産業界とも連携したキャリア教育・職業教育の推進

幼児期の教育から高等教育まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキ ャリア教育を推進する。初等中等教育段階においては，地域を担う人材育 成に資するためにも，地元企業等と連携した起業体験，職場体験，イン タ ーンシップの普及促進を図るとともに，特色ある教育内容を展開する専門 高校への支援と成果の普及に取り組む。

○ 女性活躍推進のためのリカレント教育の強化

女性が，結婚や出産等の様々な人生の節目も踏まえつつ，個性と能力を 十分に発揮できるよう大学等における リカレント教育や各種の認定教育 プログラム等を活用した能力開発など学びを通じた主体的なキャリア形成を推進し、復職や再就職， 起業等を円滑に成し遂げられる社会を実現する。

問9

次の文は、中央教育審議会答申「子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方について」（平成17年）の一部である。（ A ） ・ （ B ） にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 幼稚園等施設において、小学校入学前の主に 5 歳児を対象として、幼児どうしが、教師の援助の下で、共通の目的・挑戦的な課題など、一つの目標を作り出し、協力工夫して解決していく活動を「（ A ）」として位置付け、その取組を推奨する必要がある。
- ・ 遊びの中での興味や関心に沿った活動から、興味や関心を生かした学びへ、さらに（ B ）等を中心とした学習へのつながりを踏まえ、幼児期から児童期への教育の流れを意識して、幼児教育における教育内容や方法を充実する必要がある。

1	A:協同的な学び	B教科:
2	A:協同的な学び	B:主体的な取組
3	A:人間性の涵養	B:教科
4	A人間性の涵養:	B:主体的な取組
5	A:プロジェクト学習	B:教科

「子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方について」

第2章 幼児教育の充実のための具体的方策

第1節 幼稚園等施設のエ育機能の強化・拡大

ア エ育内容における接続の改善

- 幼稚園等施設において、小学校入学前の主に5歳児を対象として、幼児どうしが、教師の援助の下で、共通の目的・挑戦的な課題など、一つの目標を作り出し、協力工夫して解決していく活動を「協同的な学び」として位置付け、その取組を推奨する必要がある。
- 遊びの中での興味や関心に沿った活動から、興味や関心を生かした学びへ、さらに教科等を中心とした学習へのつながりを踏まえ、幼児期から児童期への教育の流れを意識して、幼児教育における教育内容や方法を充実する必要がある。

問10

次の文は、「幼稚園教育要領」第1章「総則」の第2「教育課程の編成」の一部である。（ A ）・（ B ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

幼稚園は、（ A ）との連携を図りながら、この章の第1に示す幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、（ B ）の基礎を育成するよう学校教育法第23条に規定する幼稚園教育の目標の達成に努めなければならない。幼稚園は、このことにより、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとする。

（組み合わせ）

	A	B
1	初等教育	生きる力
2	初等教育	確かな学力
3	家庭	知・徳・体
4	家庭	確かな学力
5	家庭	生きる力

幼稚園教育要領 第1章「総則」第2

幼稚園は、**家庭**との連携を図りながら、この章の第1に示す幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して **生きる力**の基礎を育成するよう学校教育法第23条に規定する幼稚園教育の目標の達成に努めなければならない。幼稚園はこのことにより義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとする。